

同志社生協（今出川キャンパス） 防災ツアー・鴨川交流会



[激甚災害支援
・防災]

取り組み概要

日時：4/5(日) 12:00～18:00

場所：京都市民防災センター、鴨川

参加者数：約30人（うち留学生2人）

背景や概要：留学生や地方出身者が多い
新入生に対して、キャンパス周辺の災害
リスクを楽しみながら知り、体験する機
会を提供する。

体験と交流で楽しく防災に触れる

POINT.1

組合員の特徴に合わせた工夫



同志社今出川キャンパスの学生委員会では、留学生や海外の人や地方から京都に引っ越して来た人が多く通うという組合員の特徴に着目し、京都という地域の災害リスクを考えるきっかけとして防災ツアーを開催しました。

特に、日本語の理解にハードルがある留学生への対応に注力し、宣伝ポスターは日英二言語版を作成。当日は英語が堪能な学生委員を中心に留学生の参加者とも積極的に交流していました。

POINT.2

地域施設との協力

本企画の前半は京都市消防局運営の施設である京都市民防災センターを訪れ、最大震度7を体験できる地震体験、台風接近時を想定した暴風体験などを通していざというときの備えを学びました。

参加者は、施設職員の案内に興味津々。京都市周辺の土砂災害リスクを可視化した展示では自身の住まいの位置を指さして確認しあっている姿もありました。



POINT.3

楽しく防災を考えるきっかけに



本企画後半では、鴨川沿いに移動して桜並木の下で楽しくお花見。ビンゴ大会では、途中で行われた防災クイズの正解者にビンゴのお助けがありました。ビンゴの景品はボトルに様々なグッズが詰まった防災セットでした。

参加者の新入生が楽しく交流しながら、防災について体験し、学び、考えるきっかけとなるような企画になっていました。